



**2017年度(2018年3月期)
第3四半期 決算説明資料**

2018年1月31日

株式会社商船三井

目次

2017年度 第3四半期 連結決算概要	2
2017年度 第3四半期 連結決算の要点	4
2017年度 通期 連結業績予想	6
2017年度 業績予想の要点	8
[補足資料 1-10]	10

(註)金額は億円未満を切り捨て表示

2017年度 第3四半期 連結決算概要

(単位: 億円)	2017年度 実績				2016年度 実績				増減	
	1Q	2Q	3Q	4-12月実績	1Q	2Q	3Q	4-12月実績		
売上高	4,032	4,156	4,207	12,396	3,600	3,534	3,678	10,814	+1,582	+15%
営業損益	11	99	132	243	△ 35	15	0	△ 20	+264	—
経常損益	58	114	172	345	7	47	83	138	+207	+150%
親会社株主に帰属する 当期純損益	52	78	161	292	14	146	29	190	+102	+54%
為替(期中平均)	¥110.79/\$	¥110.86/\$	¥113.00/\$	¥111.36/\$	¥110.31/\$	¥103.64/\$	¥105.20/\$	¥106.38/\$	+¥4.98/\$	+5%
燃料単価(期中平均)	\$319/MT	\$325/MT	\$376/MT	\$341/MT	\$226/MT	\$257/MT	\$305/MT	\$265/MT	+\$76/MT	+29%

(註)燃料油単価=平均補油単価

【経常損益】前年同期比増減分析

(単位: 億円)

為替変動	+15	前年同期比	¥4.98/\$	円安
燃料油価格変動	△97	前年同期比	\$76/MT	上昇
積取り/運賃変動・その他	+288			
(合計)	+207			

[セグメント別]

		上段		売上高		下段		経常損益			
		2017年度 実績				2016年度 実績				増減	
(単位: 億円)		1Q	2Q	3Q	4-12月実績	1Q	2Q	3Q	4-12月実績		
ドライバルク船事業	ドライバルク船 (石炭船除く)	693	642	667	2,002	630	620	682	1,933	+69	+4%
		48	31	32	112	15	38	39	93	+18	+20%
エネルギー輸送事業	油送船、石炭船、 LNG船、海洋事業	645	635	678	1,959	625	599	584	1,809	+149	+8%
		34	15	43	93	70	82	26	179	△85	△48%
製品輸送事業	自動車船、コンテナ船事業、 フェリー・内航RORO船	2,423	2,612	2,592	7,629	2,077	2,049	2,159	6,286	+1,342	+21%
		△49	52	46	48	△108	△85	△44	△238	+287	—
うち、コンテナ船事業		1,797	1,935	1,927	5,660	1,467	1,449	1,545	4,462	+1,198	+27%
		△62	21	37	△3	△116	△97	△47	△261	+257	—
関連事業	不動産、曳船、商社、客船等	228	223	225	677	224	227	214	666	+11	+2%
		37	29	35	102	31	26	34	91	+11	+12%
その他		41	42	44	127	43	36	38	118	+9	+8%
		11	0	10	23	7	0	12	19	+3	+20%
調整(消去・全社)		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		△24	△14	2	△35	△8	△14	14	△7	△28	—
連結		4,032	4,156	4,207	12,396	3,600	3,534	3,678	10,814	+1,582	+15%
		58	114	172	345	7	47	83	138	+207	+150%

註1)「売上高」は外部顧客に対する売上高を表示

註2) 2016年度の実績数値については、内部取引を考慮したうえで、新セグメントに合わせて組み替えたもの

2017年度 第3四半期 連結決算の要点(I)

【概況】

◆ 第3四半期累計期間経常利益は前年同期比で大幅増益。

← 油送船市況の大幅下落・燃料油価格上昇等の悪化要因を、コンテナ船事業の改善幅(+ 257億円)が大きく上回る。

【セグメント別】 [1-3Q/2017(9ヶ月)経常損益実績 (前年同期比増減)]

ドライバルク船事業 [112億円 (+18億円)]

■ドライバルク船

- ▶ 市況連動船：7月下旬より南米東岸積み穀物の堅調な荷動きから上昇した中小型船市況はその後も底堅く推移、中国党大会前後の反落はあったものの、冬場の石炭需要増等により再び上昇基調となった。ケープサイズも中国国慶節による下落は限定的で、その後豪州出し、ブラジル出し主要荷主の旺盛な船腹手配により活況となり、12月には一時4年振りの高値をつけた。
 - ▶ 中長期契約船：鉄鋼原料・電力炭・木材チップ等の輸送で引き続き安定利益を確保。
- ⇒ 前年同期比増益。市況エクスポージャー縮小により想定からの上振れ幅は限定的。

エネルギー輸送事業 [93億円 (-85億円)]

油送船

- ▶ 原油船：冬場需要期に関わらず低水準にて推移も、長中期契約比率高く想定並み落着。
 - ▶ プロダクト船：需要期による市況の持ち直しは見られたものの、総じて力不足。
 - ▶ その他：LPG船は需給緩和が続き市況低調。メタノール船・シャトルタンカーは着実に安定利益を計上。
- ⇒ 前年同期から大幅減益。プロダクト船の減船はほぼ計画通り進捗。

2017年度 第3四半期 連結決算の要点(Ⅱ)

■LNG船・海洋事業

中長期契約からの安定利益を着実に計上。

製品輸送事業 [48億円 (+287億円)]

■コンテナ船事業

- ◆ 運賃：ほぼ前回(10/31)想定並み水準での落着。10月以降荷動き需要が一服するにともない値上げが難しい状況が続くも、12月後半からの荷動き回復と共に一定程度上昇。
 - ◆ 積取：アジア出し北米向け荷動きは引き続き好調。アジア出し欧州向けは秋口に勢いが落ちたが12月に入り再び回復傾向。復航荷動きも堅調。
- ⇒ 2Q(3ヶ月)に続き3Q(3ヶ月)も黒字維持。前年同期比で+257億円と大幅改善。

■自動車船事業

南米、東・南アフリカ向け荷動きは底を打ったが、中東・西アフリカ向けは依然不振。トレードパターンの変化に減船にて対応中。前年同期比では若干の改善。

2017年度 通期 連結業績予想

*2017年度2Q決算発表時点(2017年10月31日)

(単位: 億円)	2017年度							2016年度	増減
	上期実績	下期見通し		通期見通し (今回予想)	通期見通し (前回予想*)	差異	通期実績		
		3Q実績	4Q見通し						
売上高	8,189	4,207	3,903	8,110	16,300	16,150	+150	15,043	+1,256
営業損益	111	132	6	138	250	200	+50	25	+224
経常損益	173	172	△95	76	250	250	0	254	△4
親会社株主に帰属する 当期純損益	131	161	△192	△31	100	120	△20	52	+47
為替(期中平均)	¥110.82/\$	¥113.00/\$	¥110.00/\$	¥111.50/\$	¥111.02/\$	¥110.41/\$	+¥0.61/\$	¥108.57/\$	+¥2.45/\$
燃料単価(期中平均)	\$322/MT	\$376/MT	\$380/MT	\$378/MT	\$351/MT	\$336/MT	+\$15/MT	\$284/MT	+\$67/MT

(註)燃料油単価=平均補油単価

【cf】前年度実績	上期	下期		通期	
		3Q	4Q		
売上高	7,135	3,678	4,229	7,908	15,043
営業損益	△20	0	46	45	25
経常損益	54	83	116	199	254
親会社株主に帰属する 当期純損益	160	29	△137	△108	52
為替(期中平均)	¥106.98/\$	¥105.20/\$	¥115.11/\$	¥110.16/\$	¥108.57/\$
燃料単価(期中平均)	\$241/MT	\$305/MT	\$339/MT	\$321/MT	\$284/MT

(参考) 経常損益へのSensitivity	
2017年度	
為替:	±0.8億円/¥1/\$ (残り2ヶ月間)
燃料単価:	±0.3億円/\$1/MT (残り3ヶ月間)

[セグメント別]

上段	売上高
下段	経常損益

*2017年度2Q決算発表時点(2017年10月31日)

(単位: 億円)		2017年度							2016年度	増減
		上期実績	下期見通し		通期見通し (今回予想)	通期見通し (前回予想*)	差異	通期実績		
			3Q実績	4Q見通し						
ドライバルク船事業	ドライバルク船 (石炭船除く)	1,335	667	597	1,264	2,600	2,600	0	2,678	△78
		79	32	27	60	140	135	+5	119	+20
エネルギー輸送事業	油送船、石炭船、 LNG船、海洋事業	1,281	678	640	1,318	2,600	2,550	+50	2,578	+21
		49	43	16	60	110	105	+5	264	△154
製品輸送事業	自動車船、コンテナ船事業、 フェリー・内航RORO船	5,036	2,592	2,420	5,013	10,050	9,950	+100	8,713	+1,336
	うち、コンテナ船事業	2	46	△133	△87	△85	△75	△10	△280	+195
		3,732	1,927	1,839	3,767	7,500	7,450	+50	6,207	+1,292
	△41	37	△131	△93	△135	△145	+10	△328	+193	
関連事業	不動産、曳船、商社、客船等	452	225	222	447	900	900	0	900	0
		67	35	22	57	125	125	0	123	+1
その他		83	44	22	66	150	150	0	172	△22
		12	10	△3	7	20	20	0	20	0
調整(消去・全社)		-	-	-	-	-	-	-	-	-
	△38	2	△24	△21	△60	△60	0	5	△65	
連結		8,189	4,207	3,903	8,110	16,300	16,150	+150	15,043	+1,256
		173	172	△95	76	250	250	0	254	△4

註1)「売上高」は外部顧客に対する売上高を表示

【cf】前年度実績		上期	3Q	4Q	下期	通期
ドライバルク船事業	ドライバルク船 (石炭船除く)	1,250	682	745	1,427	2,678
		54	39	25	65	119
エネルギー輸送事業	油送船、石炭船、 LNG船、海洋事業	1,225	584	768	1,353	2,578
		153	26	85	111	264
製品輸送事業	自動車船、コンテナ船事業、 フェリー・内航RORO船	4,126	2,159	2,427	4,586	8,713
	うち、コンテナ船事業	△194	△44	△41	△85	△280
		2,916	1,545	1,744	3,290	6,207
	△213	△47	△67	△114	△328	
関連事業	不動産、曳船、商社、客船等	452	214	233	447	900
		57	34	31	66	123
その他		80	38	54	92	172
		7	12	1	13	20
調整(消去・全社)		-	-	-	-	-
	△22	14	13	28	5	
連結		7,135	3,678	4,229	7,908	15,043
		54	83	116	199	254

註1)「売上高」は外部顧客に対する売上高を表示

註2) 2016年度の実績数値については、内部取引を考慮したうえで、新セグメントに合わせて組み替えたもの

2017年度 業績予想の要点(I)

【概況】

- ◆ 経常利益予想は前回(10/31)発表数値を据え置き。
← 事業環境は前回想定した状況からほぼ修正なし。
- ◆ 4Qに発生を見込むコンテナ船事業統合関連費用を織り込み済み(持分法投資損益、特別損益)。

	前回見通し(10/31)			⇒	今回(1/31)		
	上期(実績)	下期	/通期経常損益		上期(実績)	下期	/通期経常損益
ドライバルク船事業	79	55	/ 135億円	⇒	79	60	/ 140億円
エネルギー輸送事業	49	55	/ 105億円	⇒	49	60	/ 110億円
製品輸送事業	2	▲77	/ ▲75億円	⇒	2	▲87	/ ▲85億円
全社合計 ※	173	76	/ 250億円	⇒	173	76	/ 250億円

※ その他セグメントと調整(全社・消去)の合計

【セグメント別】 [2017年度通期予想経常損益 (10/31発表値からの増減)]

ドライバルク船事業 [140億円 (+5億円)]

市況は季節的要因から若干軟化するものの、全体として堅調な需給環境を背景に、下落幅は限定的と見込む。

⇒ 前年度比若干増益。市況動向に関わらず安定した利益を創出。

エネルギー輸送事業 [110億円 (+5億円)]

▶ 原油船：冬場ピークの成約数は期待ほど伸びておらず、今後の上昇幅も小幅に留まる前提。

▶ プロダクト船：冬場灯油需要等による改善が見込まれるも、上値は重い前提。

⇒ 前年度から大幅減益。中長期契約が貢献し一定の利益を確保。

2017年度 業績予想の要点(Ⅱ)

■LNG船・海洋事業

引き続き安定利益の計上を見込む。

製品輸送事業 [▲85億円(－10億円)]

■コンテナ船事業

- ◆ 運賃:2月旧正月前の駆け込み需要による需給の引き締まり・スポット運賃の上昇が期待されるが、その後の閑散期において一定程度の下落を織り込み。
- ◆ 積取:北米向け、欧州向けともに堅調な荷動きを見込むが、旧正月後の荷動き動向には注意が必要。
- ◆ その他: 事業統合に関わる一時費用は主に4Qに発生(以前から織り込み済み)。
⇒ 前年度からは大幅改善。但し、統合関連費用等の要因により4Q(3ヶ月)は赤字を見込む。

■自動車船

日本出し北米向け積取は4Qにやや鈍化を見込む。資源国向けは中東・西アフリカ向けの低迷が継続。引き続き運航効率改善による採算向上を目指す。
⇒ 低水準ながらも黒字を確保。

【配当】

前回発表から変更無し。中間1円(株式併合前ベース)、期末10円(株式併合後ベース)を予定。

ドライバルク船市況(スポット傭船料)

[補足資料1]

1. 2016年度(実績)

(単位: US\$/日)

船型	2016年度						通期
	上期			下期			
当社(単体)運航船に関わる市況	2016年4-9月			2016年10月-2017年3月			平均
	4-6月	7-9月		10-12月	1-3月		
ケープサイズ	6,700	8,100	7,400	12,200	11,200	11,700	9,500
パナマックス	4,900	5,700	5,300	8,600	8,300	8,500	6,900
ハンディマックス				8,300	8,200	8,200	8,200
スモールハンディ				6,900	6,600	6,800	6,800
海外子会社運航船に関わる市況	2016年1-6月			2016年7-12月			平均
	1-3月	4-6月		7-9月	10-12月		
ケープサイズ	2,700	6,700	4,700	8,100	12,200	10,100	7,400
海外子会社運航船に関わる市況	2016年1-6月			2016年7-12月			平均
	1-3月	4-6月		7-9月	10-12月		
パナマックス	3,100	4,900	4,000	5,700			4,600
ハンディマックス	3,800	5,800	4,800	7,100	2016年10月以降は 営業・運航を東京へ移管		5,600
スモールハンディ	3,400	4,800	4,100	5,800			4,700

2. 2017年度(実績・見通し)

(単位: US\$/日)

船型	2017年度						通期
	上期			下期			
当社(単体)運航船に関わる市況	2017年4-9月			2017年10月-2018年3月			平均
	4-6月	7-9月		10-12月	1-3月		
ケープサイズ	12,000	14,700	13,300	23,000	12,000	17,500	15,400
パナマックス	8,800	10,100	9,500	11,900	8,000	10,000	9,700
ハンディマックス	8,800	9,500	9,200	11,000	9,500	10,300	9,700
スモールハンディ	7,300	7,400	7,300	9,400	7,500	8,400	7,900
海外子会社運航船に関わる市況	2017年1-6月			2017年7-12月			平均
	1-3月	4-6月		7-9月	10-12月		
ケープサイズ	11,200	12,000	11,600	14,700	23,000	18,800	15,200

(註)

1) 黒字は一般市況実績。

2) 青字は見通し。見通しは、フリー船(スポット契約や2年未満の短期契約に従事)の損益予想において参照する市況水準。但し、荷主と運賃を合意済みの場合は合意運賃を損益予想に反映

3) 海外子会社運航船については、暦年ベース(1-12月)の市況実績・見通しを表示。(海外子会社は12月決算であり、3カ月遅れで当社連結決算に計上される為。)

4) ケープサイズは5航路(2014年度通期決算発表より変更)、パナマックスは4航路、ハンディマックスは5航路、スモールハンディは6航路の平均。

油送船市況(スポット傭船料換算)

[補足資料2]

1. 2016年度(実績)

(単位: US\$/日)

船型	対象航路	2016年度						通期
		上期			下期			
当社(単体)運航船に関わる市況		2016年4-9月			2016年10月-2017年3月			平均
		4-6月	7-9月		10-12月	1-3月		
原油船(VLCC)	中東-極東 (参考:WS)	41,000 (65)	17,100 (41)	29,000 (53)	45,900 (75)	27,100 (58)	36,500 (66)	32,800 (60)
石油製品船(MR)	主要5航路	12,600	9,600	11,100	9,500	11,100	10,300	10,700
海外子会社運航船に関わる市況		2016年1-6月			2016年7-12月			平均
		1-3月	4-6月		7-9月	10-12月		
LPG船(VLGC)	中東-日本	45,600	20,200	32,900	11,600	14,100	12,800	22,900

(出所) 石油製品船及びLPG船: クラークソン

2. 2017年度(実績・見通し)

(単位: US\$/日)

船型	対象航路	2017年度						通期
		上期			下期			
当社(単体)運航船に関わる市況		2017年4-9月			2017年10月-2018年3月			平均
		4-6月	7-9月		10-12月	1-3月		
原油船(VLCC)	中東-極東 (参考:WS)	20,500 (47)	9,700 (39)	15,100 (43)	19,700 (53)	(59)	(56)	(50)
石油製品船(MR)	主要5航路	9,100	10,300	9,700	11,300			
海外子会社運航船に関わる市況		2017年1-6月			2017年7-12月			平均
		1-3月	4-6月		7-9月	10-12月		
LPG船(VLGC)	中東-日本	17,400	17,500	17,400	9,100	16,000	12,500	15,000

(註)

(出所) 石油製品船及びLPG船: クラークソン

- 1) 黒字は一般市況実績。
- 2) 青字は見通し。見通しは、フリー船(スポット契約や2年未満の短期契約に従事)の損益予想において参照する市況水準。但し、荷主と運賃を合意済みの場合は合意運賃を損益予想に反映。
- 3) VLCCのWSは、2016年度/2017年度ともに2018年のFlat Rateに基づき再計算した数値。
- 4) VLCCの市況は、2017年1月以前は中東-日本航路、以降は中東-中国航路を前提とする。
- 5) 石油製品船の市況は、欧州-北米、北米-欧州、シンガポール-豪州、韓国-シンガポール、インド-日本の主要5航路単純平均。
- 6) LPG船は海外子会社で運航しており、暦年ベース(1-12月)の市況実績を表示。(海外子会社は12月決算であり、3カ月遅れで当社連結決算に計上される為。)

1. 2016年度(実績)

(単位: 千台)

(完了ベース／航海傭船を含む)	2016年度						
	上期		下期		通期		
	1Q	2Q	3Q	4Q			
合計	970	1,038	2,007	1,006	1,064	2,070	4,077

2. 2017年度(実績・見通し)

(単位: 千台)

(完了ベース／航海傭船を含む)	2017年度						
	上期		下期		通期		
	1Q	2Q	3Q	4Q			
合計	1,034	1,137	2,172	1,095	1,069	2,164	4,336

*青字は見通し

コンテナ船 主要航路消席状況・運賃推移

[補足資料4]

1. 消席状況

(単位:千TEU)

北米航路 (アジア/北米)		2016年度					2017年度				
		1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	4Q	通期
往	スペース	214	235	233	229	910	249	254	253		
	積高	186	206	214	210	816	233	246	234		
	消席率	87%	88%	92%	92%	90%	94%	97%	93%		
復	スペース	200	235	235	226	895	239	252	263		
	積高	119	117	132	141	509	149	125	140		
	消席率	60%	50%	56%	62%	57%	62%	50%	53%		

欧州航路 (アジア/欧州)		2016年度					2017年度				
		1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	4Q	通期
往	スペース	113	115	104	125	457	180	181	186		
	積高	106	103	101	124	434	176	173	169		
	消席率	93%	90%	98%	100%	95%	98%	96%	91%		
復	スペース	107	110	107	108	432	147	182	181		
	積高	80	77	86	85	328	104	118	120		
	消席率	75%	69%	81%	78%	76%	70%	65%	66%		

全航路		2016年度					2017年度				
		1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	4Q	通期
スペース		1,361	1,435	1,404	1,394	5,594	1,511	1,590	1,599		
積高		1,031	1,047	1,093	1,118	4,289	1,227	1,242	1,245		
消席率		76%	73%	78%	80%	77%	81%	78%	78%		

2. 平均運賃 (指数表示: 2008年度1Q=100)

全航路		2016年度					2017年度				
		1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	4Q	通期
運賃指数		60	61	59	61	60	62	64	60		

(参考)燃料単価(/MT) \$226 \$257 \$305 \$339 \$284 \$319 \$325 \$376 \$380 \$351

船隊構成(海洋事業含む)

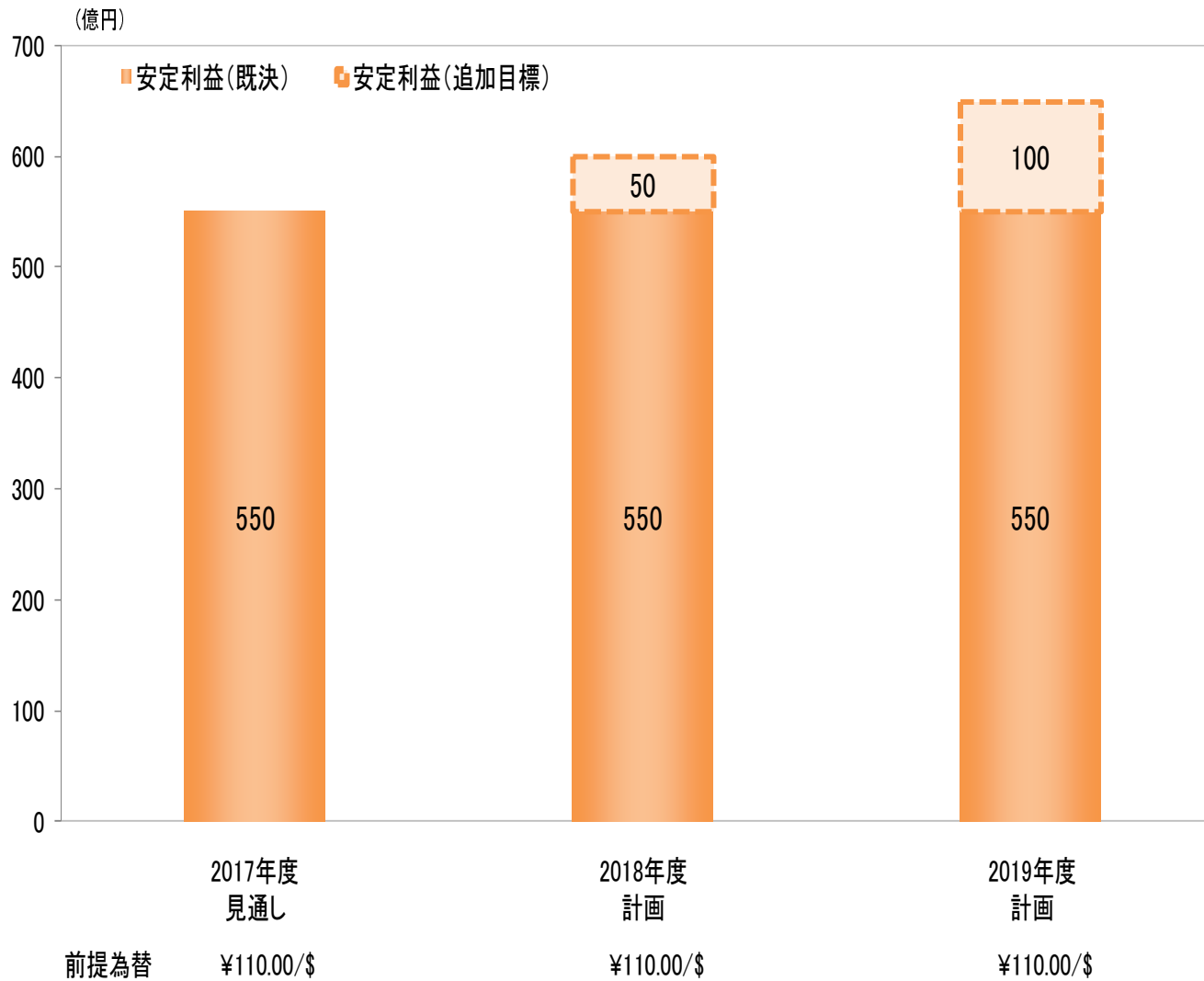
[補足資料5]

		2017年 3月末	2017年 9月末	2017年12月末		2018年 3月末 (見込み)	
				1,000dwt			
ドライバルク船 事業	Capesize	90	88	90	17,591		
	中小型 一般バルカー	Panamax	24	25	29	2,365	
		Handymax	57	52	51	2,800	
		Small Handy	31	34	30	1,075	
		(小計)	112	111	110	6,240	
	木材チップ船	39	39	39	2,159		
	近海船	55	50	53	964		
(小計)	296	288	292	26,954	281		
	(内、市況エクスポージャー)	(79)	(65)	-	-	(69)	
エネルギー輸送 事業	油送船	原油タンカー	40	39	40	10,694	
		プロダクトタンカー	43	39	40	2,359	
		ケミカルタンカー(メタノールタンカー含む)	78	80	81	2,514	
		LPGタンカー	8	8	8	447	
		(小計)	169	166	169	16,015	
	石炭船	41	43	40	3,696		
	(小計)	210	209	209	19,711	211	
		(内、市況エクスポージャー)	(106)	(99)	-	-	(99)
	LNG船(エタン船含む)	80	83	82	6,462	84	
	海洋事業	FPSO	4	5	5	-	6
FSRU		0	0	1	152	1	
サブシー支援船		1	1	1	5	1	
内航船(内航RORO船除く)	29	30	30	96	30		
製品輸送 事業	自動車船	120	117	117	1,968	117	
	コンテナ船	91	88	91	7,462	86	
	フェリー・内航RORO船	14	14	14	79	14	
客船		1	1	1	5	1	
その他		2	2	2	13	2	
合計		847	838	845	62,906	834	

註1)短期傭船、J/V保有船を含む。

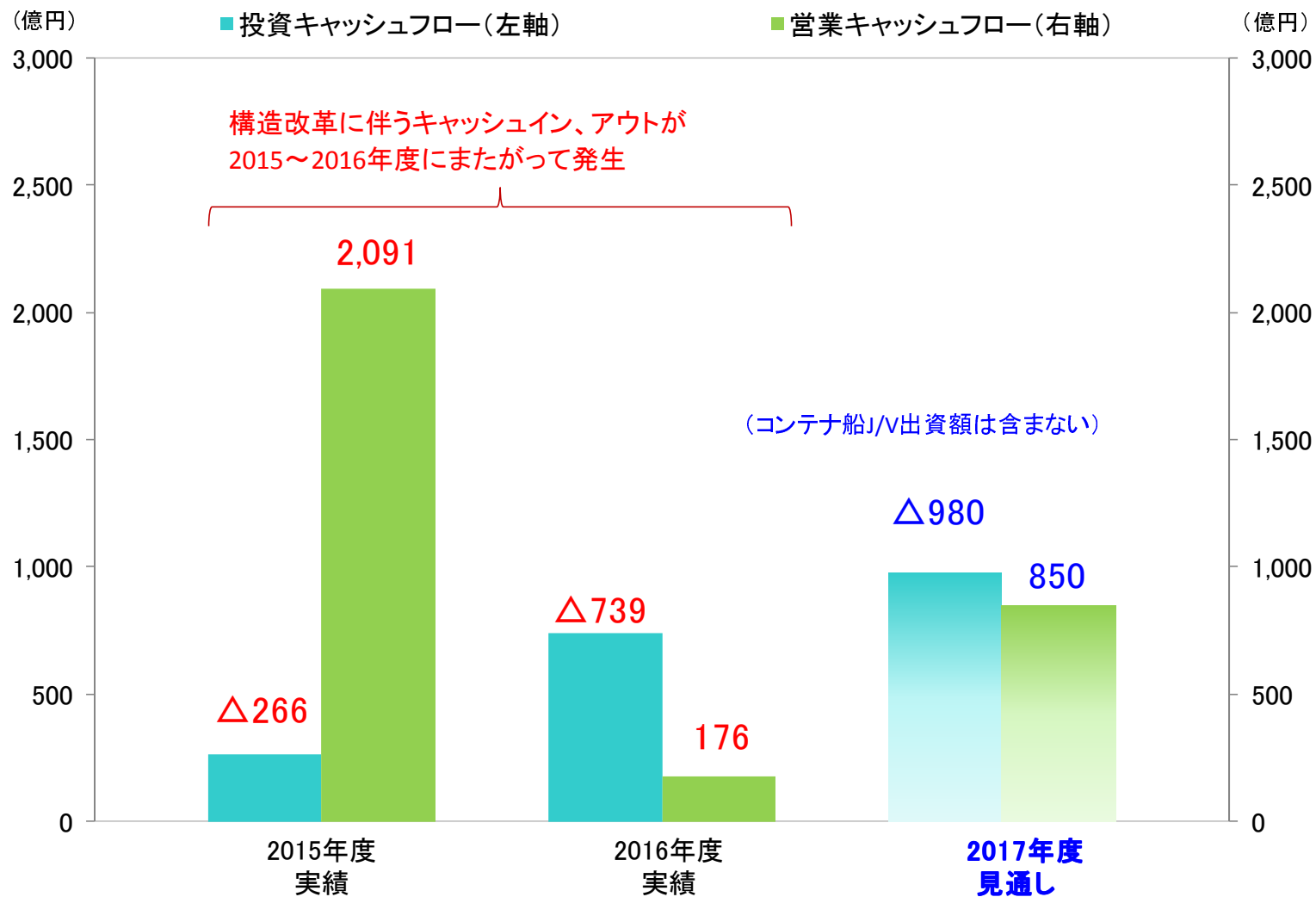
註2)『市況エクスポージャー』=中長期調達船で、2年以上の契約が付いていない船。

註3)2018年3月末の市況エクスポージャー見込みは、2017年度2Q決算発表(10月)時点の数字



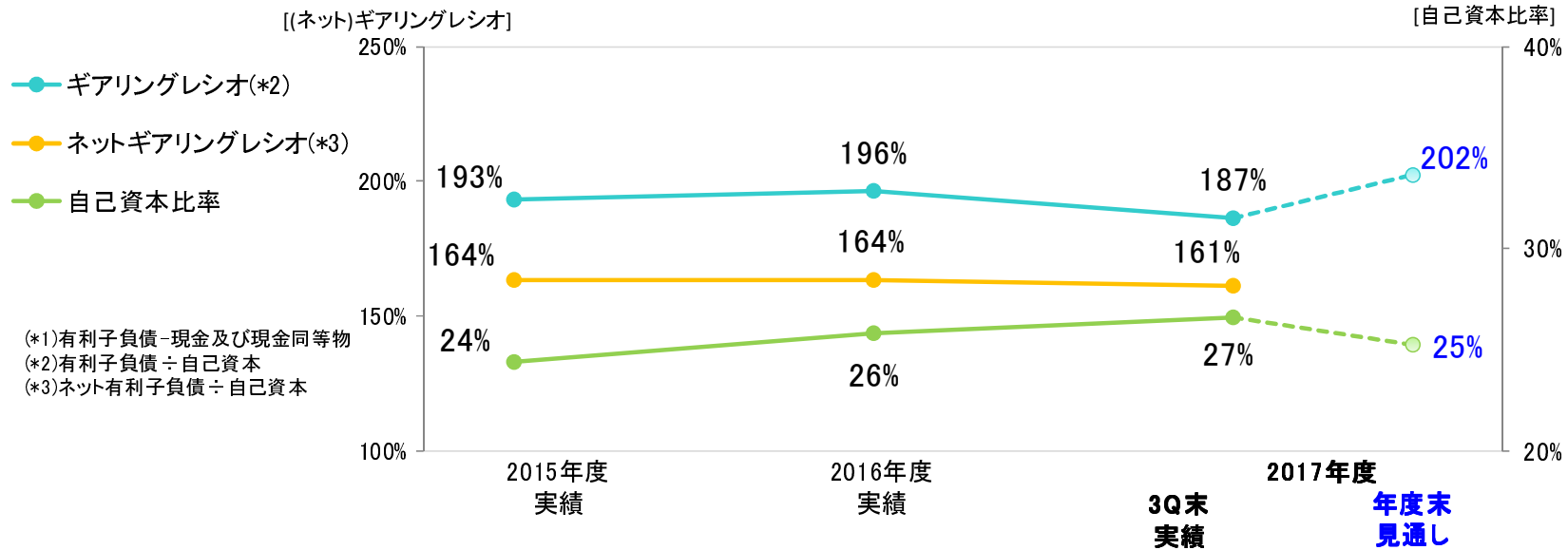
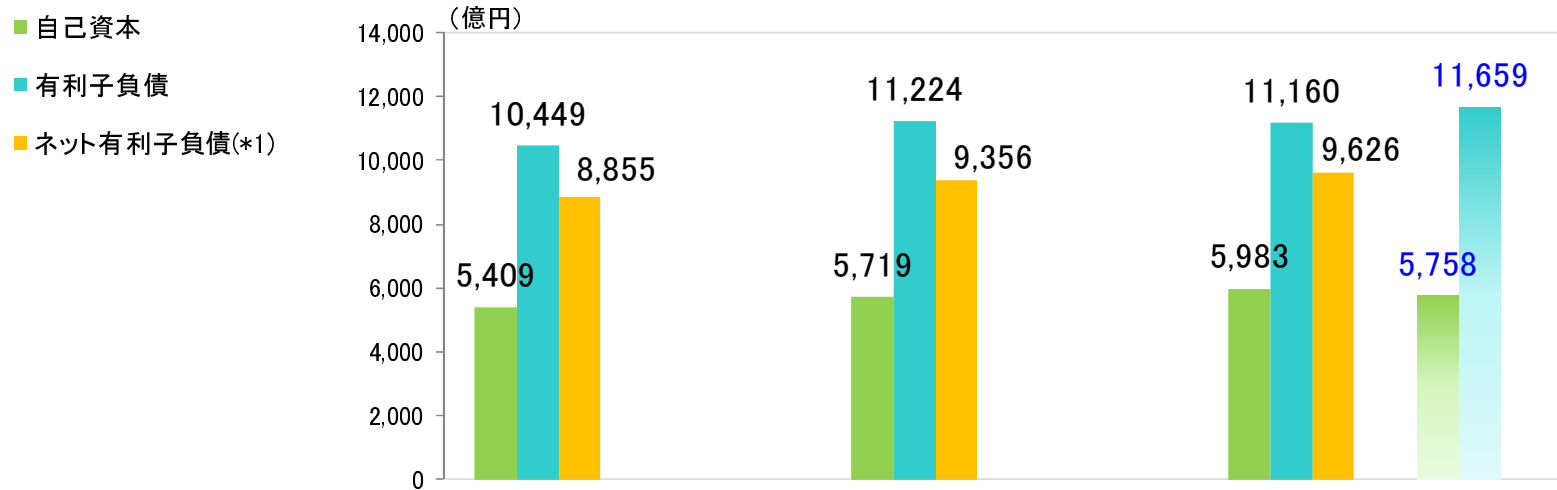
(2017年4月28日発表)

安定利益:ドライバルク船・油送船(中長期契約)、LNG船・海洋事業、関連事業



経常損益(億円)	362	254	250
親会社に帰属する当期純損益(億円)	Δ 1,704	52	100
平均為替	¥120.62/\$	¥108.57/\$	¥111.02/\$

□本表の投資キャッシュフローと営業キャッシュフローの差額(=フリーキャッシュフロー)に配当支払いを加味した金額が、ネット有利子負債額の変動に相当(為替水準一定の場合)。(P15上段グラフご参照)

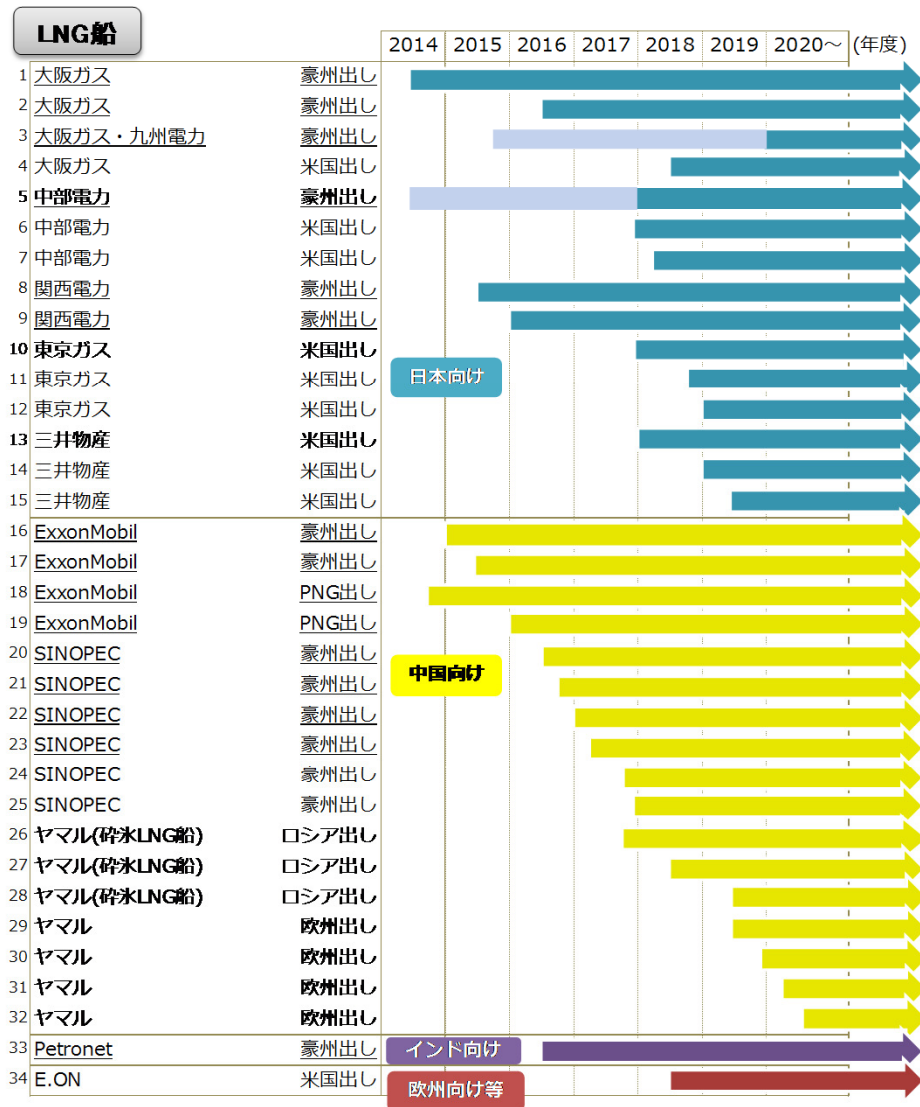


(*)有利子負債-現金及び現金同等物
 (*2)有利子負債÷自己資本
 (*3)ネット有利子負債÷自己資本

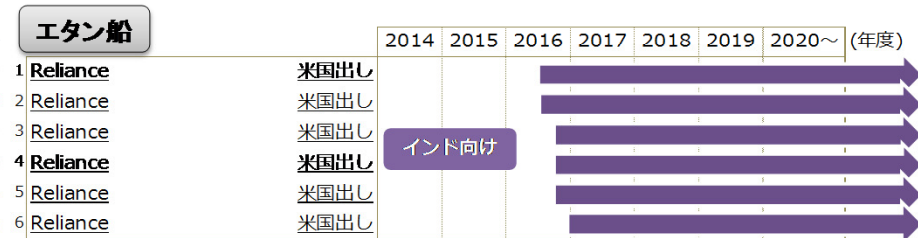
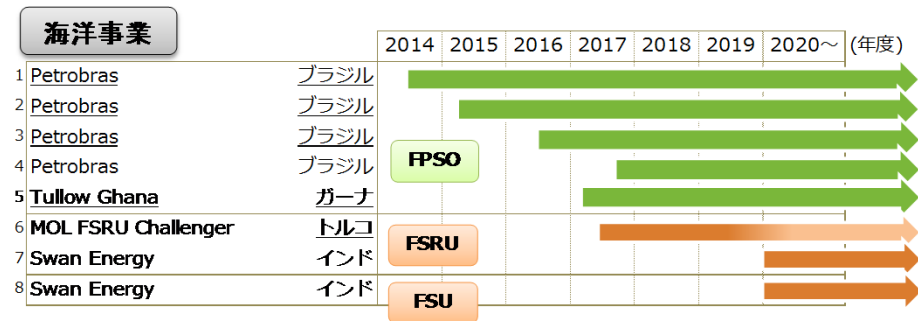
(期末為替)	2015年度 実績	2016年度 実績	2017年度 3Q末 実績	2017年度 年度末 見通し
単体	¥112.68/\$	¥112.19/\$	¥113.00/\$	¥110.00/\$
海外子会社	¥120.61/\$	¥116.49/\$	¥112.73/\$	¥113.00/\$

LNG船・海洋事業 成約状況(2014年度以降竣工船)

[補足資料9]



(註)下線は稼働中



営業外・特別損益(連結)／運航費(単体) 明細

[補足資料10]

1. 営業外収益・費用(連結)

(2017年度第3四半期累計)

(億円)

営業外収益	278
うち: 受取利息	59
受取配当金	49
持分法による投資利益	-
為替差益	144
その他営業外収益	24

営業外費用	176
うち: 支払利息	153
持分法による投資損失	5
その他営業外費用	18

2. 特別利益・損失(連結)

(2017年度第3四半期累計)

(億円)

特別利益	87
うち: 固定資産売却益	58
その他特別利益	28

特別損失	23
うち: 固定資産売却損	11
その他特別損失	12

3. 運航費(単体)

(億円)

	2017年度第3四半期	2016年度第3四半期
港費	719	652
貨物費計	1,904	1,702
荷役費及び接続費	1,760	1,576
歩金仲介料	114	97
一般貨物費	29	28
燃料費	1,334	886
雑費	33	26
合計	3,991	3,268